

消防局で活用している「市街地火災延焼シミュレーション」を自主防災訓練のメニューに追加！

令和5年4月1日（土）から、研修型訓練「市街地火災延焼シミュレーションを活用した地域特性の把握」を自主防災訓練の訓練メニューに新たに追加します。

1 市街地火災延焼シミュレーションとは

総務省消防庁消防大学校消防研究センターが開発したソフトで、パソコンの地図上に出火場所、風向、風速などの条件を任意に設定することにより、火災の延焼予測を行い、時間経過とともに火災の延焼拡大状況が地図上に表示されるものです。



市街地火災延焼シミュレーションの状況

2 期待される効果について

震災時等に火災が発生し、万が一延焼が拡大した場合に、どのくらい被害が生じてしまうのかを視覚的に確認し、地域特性を把握していただくことで、火災予防、初期消火及び避難の重要性の再認識をしていただき、地域の防災力の向上に繋がっていきたいと考えています。

3 手続きについて

お近くの消防署所へ「防災訓練等実施申請書※」により申請していただくと、訓練の内容により消防職員等が指導に伺います。

※「防災訓練等実施申請書」は市ホームページからダウンロードできます。

4 自主防災訓練等とは

自主防災訓練は、自治会等の地域の自主防災組織が実施する防災訓練で、訓練メニューには初期消火訓練、心肺蘇生法訓練、炊き出し訓練、震度体験訓練等があります。